

事故発生状況報告書

③ 事故発生状況報告書

別紙交通事故証明書に補足して下記のとおり報告いたします。

甲 相手方	氏名 (電話) 伊予 三郎 △△-XXXX	乙 被害者	氏名 (電話) 国保 太郎 XX-XXXX	該当を○で囲んで下さい。 ① 甲車 ② 甲車以外の車 ③ 同乗 ④ 甲車以外の車 ⑤ その他
速度	40 km/h (制限速度 30 km/h)、甲車以外の車 30 km/h (制限速度 30 km/h)			
天候	晴・曇・雨・雪・霧	交通状況	混雑・閉鎖	明暗 昼間・夜間・明け方・夕方
道路状況	良い 見通し	ある 歩道 (両・方)	道路幅	甲車側 (4m) 甲車以外の車側 (6m)
事故現場における自動車と被害者との状況を図示して下さい。	事故発生状況略図 (道路幅をmで記入して下さい)			
上記図の説明を書いて下さい。	広路 (片側一車線) を北進中の①原付と、左側の狭路から左折しようとした②乗用車が衝突。 ②側に一時停止標識はない。			

事故の状況を詳しく説明していただく用紙です。
過失割合を決める場合の判断の材料となりますので、事実に基づいて正確に記入してください。

当事者欄

- ・事故証明書の甲・乙に関係なく、加害者 (相手方) を「甲」、被害者 (被保険者) を「乙」として記入してください。
- ・事故時の被害者の状況について、いずれかに○を付けてください。
なお同乗者の場合には、「甲車」「甲車以外の車」のいずれかにも○をお付けください。

状況欄

- ・事故現場の道路の状況 (信号、一時停止標識、一方通行標識、駐車禁止標識、横断歩道、歩道など)、事故発生の原因となった甲車と乙車 (者) の動き・関係位置等をはっきりと略図で記入してください。
- ・記載を相手方に任せるときは、届け出前に報告内容に間違いがないか確認するようにしてください。

説明欄

- ・状況欄の図面について説明してください。被害者・加害者の動きがわかるように記入してください。

報告者は被害者 (被保険者) と加害者 (相手方) のどちらが作成しても構いませんが、事故発生の原因につき、双方の意見が食い違う場合はそれぞれが作成してください。

平成28年 1月 29日

報告者 甲との関係 () 氏名 国保 太郎 印
乙との関係 (本人)